# １０年後のストック状況について

参考資料２

## 住宅ストックの現状

**ストック総数＝5,４００万戸**
居住あり　＝4,７００万戸
空き家等　＝　７００万戸
（空家等比率＝13.0%）

**新耐震基準適合率　＝７５%**

**共同住宅共用UD化率＝１０%**

**省エネ対策率　＝１８%**

**優良管理マンション率＝２０%**

（平成１５年度）

総数　＋３５０万戸
*建設＋1,３８０万戸*
*除却△1,０３０万戸*
居住あり＋２５０万戸
空家等　＋１００万戸

＜建設戸数の時期別内訳＞
（H15央～H17末：３００万戸）
H18～H22年度：５８０万戸
H23～H27年度：５００万戸

## 10年後のストック状況

**ストック総数＝5,７５０万戸**
居住あり　＝4,９５０万戸
空き家等　＝　８００万戸
（空家等比率＝13.9%）

**新耐震基準適合率　＝９０%**

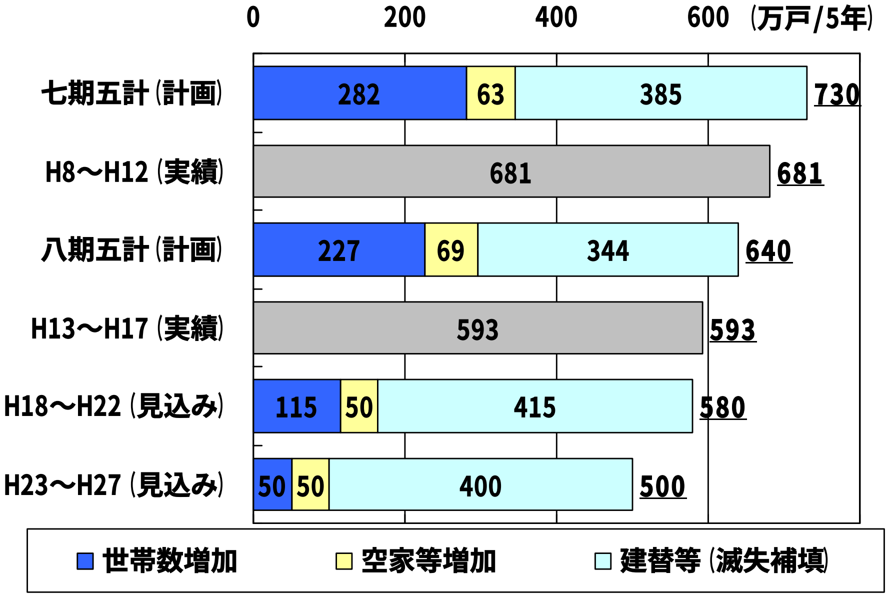
**共同住宅共用UD化率＝２５%**

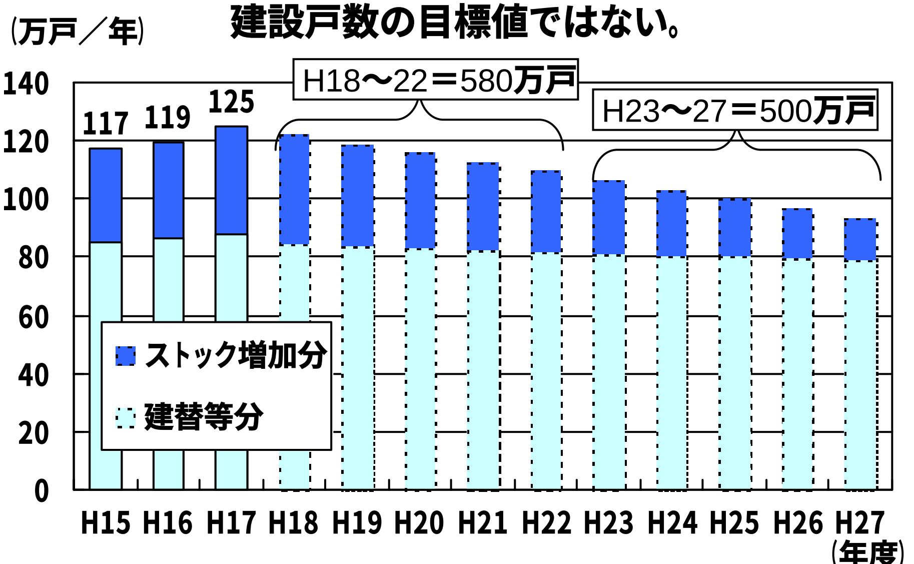
**省エネ対策率　＝３５%**

**優良管理マンション率　＝５０%**

（平成２７年度）

## ◆建設戸数（5年間）の要因内訳の推移




## ◆年間建設戸数の見込み

（注）計画策定の前提としての見込み値であり、
建設戸数の目標値ではない。